

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	めいぷる		
○保護者評価実施期間	令和6年4月1日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和6年4月1日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・TEACCHプログラムや構造化、PECS等を使用し、個々に合わせた支援していること。	・一人一人に合わせた支援を心がけている。 ・職員間で話し合い、気付いた時点で直ぐに修正し、関わる職員での統一を行っている。	・それぞれの職員の気づきが増える。
2	・月に2回の外部から作業療法の先生を招き、感覚統合のアドバイスを頂いていること。	・アドバイス頂いたことを元に支援に取り入れている。	・アドバイス頂いたことを元に支援に取り入れる。 ・職員間での周知。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・活動内容について。	・活動内容についての、目的の意味と話し合いの不十分さ。	・バランス良く、色々な経験や体験ができるように活動内容を考えていきたい。その為の話し合いと、子どもたちのそれぞれの特性の理解と把握が必要だと思う。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 特定非営利活動法人 太陽 児童発達支援事業所 めいぶる

公表日 令和 7年 3月 4日

利用児童数

25

回収数

13

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	2				・活動スペースは、確保できていると思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	2		2		・決められた配置数を満たしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1				・その都度、子ども達の特性や状況に応じ、構造化を変更させています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12			1		・その時々の子ども達に合わせた環境作りを心がけています。
適切な 支援 の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	1			・とても分かりやすく項目ごとに子どもに合わせて計画を作成していただき、評価もしていただきました。	・計画を作成する際には、保護者の方からお子さまにどうなって欲しいのかなどの願いを聞き、計画に反映させるようにしています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12			1		・本人支援が、優先になっていることが多いです。来年度からは、ポーターシッププログラムを取り入れ、家族支援や移行支援にも目を向け、取り組んでいきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	2		3		・毎日の活動を決め、目的を持って活動を行えることと、色々な経験ができるよう工夫しています。
保護 者 へ の 説 明	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	3	2		・幼稚園や保育所等との交流は現在ありません。将来的には、交流を持てるよう考えています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3		5		・講習会の案内がありましたら、お知らせしたいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11	1		1	・いつも連絡帳で子どもの様子をわかりやすく教えていただいています。健康・身体の状態でも配慮してもらっています。ありがとうございます。 ・面談をしていないため共通の理解ができていないか不明。	・送り迎えをしてきている保護者の方については、お迎えの際に直接スタッフが情報共有できますが、送迎のお子さまの保護者の方とは、連絡帳でのやりとりになってしまっているのが現状です。送迎のお子さまの保護者の方とも情報共有する機会を検討していきたいと思っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	2	1	1	・一度も面談をしてないので。	・面談は年に1回行っています。 ・連絡帳を活用しています、また、お迎えの際や電話にて情報共有するように努めています。 ・個別支援計画書を配布する年度始めに面談を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					

等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3	1	3	・芋煮会の時、障がいのある兄のことも見てくれて助かりました。ありがとうございました。 ・実施はしていると思うが参加できていないため「わからない。」としている。	・芋煮会を行いました。その際、保護者の方には調理を行い、お子さんとその家族をお預かりし、交流する機会を設けていました。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11			2	・子どもの言葉の発音が気になっていた時に、お迎えの時に何気なく聞いたことを、すぐに「発達支援の場」があることを教えていただき安心しました。	・相談があった際には、知り得る知識をお伝えしています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1				・連絡帳を活用しています。また、お迎えの際や電話にて情報共有するように努めています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	2			・SNSで発信されるようになり、子どもの様子がわかるので嬉しいです。	・大きな行事予定は、お伝えしています。が季節の行事や通常の野外活動については、その日の連絡帳にてお伝えしています。また、SNSやめいぶるの広報誌、HPにてお知らせしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1				・契約時に、個人情報取り扱いについて説明し、同意書を頂いています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	2	1	4		・今年度は、災害（地震）を想定し、保護者とのメール訓練を行いました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1		3		・定期的に避難訓練を行っています。実施時には、連絡帳にてお伝えしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1		1		・子ども達が安全な環境で遊べるように、室内・戸外の安全点検を定期的に行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9			4		・迅速に対応を行えるように努めています。また、そのようなことが起きた際には、記録にも残しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	1		1		・子ども達が、安心して通える場所であるよう努めています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	1		1		・子ども達が、楽しく通える場所であるよう努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1				・お子さん、ご家族共に、支援に満足していただけるよう努めたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		めいぶる		公表日		令和 7年 3月 4日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		令和2年4月に新築した建物であり、基準は満たしている。指導訓練室や療育室などはクラス分けし、ホール（遊戯室）は共有している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		適切である。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		子どもの特性に応じ、分かりやすく構造化されている。 建物内は全てバリアフリー化されている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		清潔な環境で子ども達が過ごせるよう、玩具や床などは定期的に消毒している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		全ての場所が自由に使えるようになっている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		支援計画策定会議で支援計画を定め、定期的にモニタリングを行っている。目標設定の振り返りや見直しは、チームで行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		アンケート調査を実施し、保護者の意見や要望を聞き取り、業務改善につなげていくようにしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		職員会議で職員の意見を出し合う時間を設けたり、アンケートをとったりして業務改善につながるようにしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第三者の評価はしていない。今後第三者による外部評価を検討している。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		研修計画を定め外部研修に参加できるようにしている。また、内部研修を定期的に行っている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		契約時や年に2回アセスメントを行い、ニーズや課題を明確にしサービス計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援計画に沿った支援を行い、子どもの発達段階に合わせて支援内容を見直している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		事業所独自のアセスメントシートを使用している。また、来年度からポーターページを取り入れる。		
	16	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインを参考にしながら計画を作成している。「家族支援」については、アタッチメント（愛着）の安定を優先に考え助言などを行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者や保育士、児童指導員など、チームで活動プログラムの立案を行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		般化が無理なくできるように支援を工夫し、集団や個別ともに、子どもの興味関心を見ながら活動プログラムを作成している。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別活動や集団活動は、子どもの活動状況に合わせて立案し、対応している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		朝夕のミーティングで、その日の受け入れ児童の支援の課題や、内容について打ち合わせをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		支援終了後に支援の振り返りのミーティングを行っている。支援の内容で気付いたことは共通理解し支援できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		支援の検証ができるような支援記録を心がけ、モニタリングに反映できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		最低でも6ヶ月ごとにモニタリングを行い、支援計画は成長段階に応じて、前期と後期の2回策定している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援責任者や主となる担当者が、サービス担当者会議に参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		各市町村の保健師とは連携を密に取っている。利用児の家庭環境や関係機関と情報共有している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		併行利用や移行に向けた支援は積極的に行っている。保育所や幼稚園等には訪問して子どもの様子を伺い、また、幼稚園等とも情報交換を小まめに行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		利用児の情報提供書の提供や、支援内容の情報共有のためケア会議に参加している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			必要に応じて助言や研修を受けたいと考えている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>			保育所や認定こども園、幼稚園との交流の機会は設けていないが、苺狩りや芋掘り・大根掘りで、地域の人や高校生と交流を設けている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>			送迎の際や連絡帳を活用して情報交換を行っている。また、保護者より相談があれば随時面談を行っている。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>			保護者などが参加できる研修会は案内を出している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			利用契約時に説明を行っている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			個別支援計画を作成する際には、保護者の要望や思いを聞き取り、子どもの発達段階に合わせた計画を作成するようにしている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			個別支援計画について説明を行い、保護者の同意を得ている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>			保護者より相談を受けた際には助言を行うと共に、必要に応じて関係機関につなぐこともしている。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		保護者会としては開催していないが、保護者や兄弟の交流の機会として、いも煮会や研修会などを計画している。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		苦情が出された際には、苦情受付担当者が責任者に報告するとともに、誠意を持って迅速に対応することになっている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		毎月、写真入りのお便りを出したり、HPやインスタを活用したりして、子どもの活動の様子を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		契約時、保護者より個人情報取り扱いの同意書もらい、個人情報保護にあたっている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		子どもや保護者に伝わりやすいような情報伝達を心がけ、意思の疎通を図っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>		地域に開かれた事業運営については今後の課題である。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		マニュアルは職員には周知しており、緊急時対応としての訓練は行っている。	様々なマニュアルは策定してあるが、保護者に周知していないため、必要なものは周知するようにする。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		非常災害に備えて、定期的な訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		保護者より服薬やてんかん発作などの情報を頂き、状態を把握した上で支援にあたっている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		食物アレルギーがある場合には、アレルギー検査結果をもらい対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		安全計画をもとに定期的に訓練を行い緊急時に備えている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		家族への連絡訓練など保護者に協力を依頼し、緊急時の対応について連携が図られるようにしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハットは職員会議で検証し、再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		内部研修を行ったり外部研修に出したりしている。また、虐待防止委員会を月に1回開催し虐待防止について意識を高めている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		やむなく身体拘束の対応を迫られた場合は、保護者の理解を得たうえで個別支援計画に記載し対応する。	暴力的な行動が出現した場合、落ち着くまで個室において、職員とタイムアウトをする場面も同様な対応とする。	